

# 奈弓連だより

通巻 201号

平成 30 年 11 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

連絡先 : henshu@narakyudo.jp

## 全国遠的選手権大会

### 山口選手 決勝進出するも入賞ならず

10月19日から21日まで金沢市のいしかわ総合スポーツセンター特設会場で第69回全国遠的選手権大会が開催されました。奈良県代表として女子では白井礼子、揚田よう子選手が、男子では山口亮二、綿松昭寛選手が出場されました。

予選は1回目一手2射、2回目二手4射、合計6射で競われ、山口選手は5中で決勝進出しました。決勝は一手5回合計10射で行われました。山口選手は決勝では7中と健闘されましたが、残念ながら入賞には届きませんでした。(事務局)

### 感謝の気持ちを忘れずに、これからも修練を積みたい

県弓道教室(錬弓会) 白井礼子

予選で敗退という結果に終わりましたが、大会の様子を簡単に報告させていただきます。開会式前には、石川県無形民俗文化財の加賀鳶はしご登りや、加賀獅子舞の歓迎セレモニーが披露されました。また、大会の合間にはお茶をたてて頂き、地方開催ならではのあたたかいおもてなしもありました。屋内の特設射場でしたので、前日練習で、会場の雰囲気を確認しました。多少、矢所が見えにくい点がありました。

当日、最初の一手を外してしまい、後の4つ矢は皆中でないと予選通過は厳しいだろうと思っていました。控えに戻って射の反省をし、4つ矢へ集中しました。結果は3中でした。まだまだ、課題が沢山です。最後の選手が引き終わった時点で決勝進出24名でしたので、今回も敗退でした。

奈良県では、男子の山口さんが決勝進出され、惜しくも入賞は逃しましたが集中した粘り強い射を見せてくれました。

今年は、全日本弓道近的選手権大会も出場させていただき、応援して下さる皆さんや送り出してくれた家族のためにも、何とか結果を出したいと思って臨みましたが、まだまだ力不足です。皆さんも、いろいろな環境の中で弓道に取り組んで頑張っていると思います。私も、支えて下さる先生方や仲間がいてくれることで、頑張れています。本当にありがとうございます。感謝の気持ちを忘れずに、これからも修練を積んでいきたいと思っています。

## 「ねりんピック富山 2018」弓道交流大会

### 県代表チーム 決勝進出するも初戦敗退

11月3日から6日まで富山県で「全国健康福祉祭ねりんピック富山2018」が開催され、奈良県代表として宮脇・斎藤・清水・佐藤・赤松の5名が参加しました。富山市での総合開会式に続き、射水市で弓道交流大会が開催され、70チームが参加しました。

大会は大島弓道場で開催され、予選は5人立各自4射2回計40射の的中数により上位16チームが予選通過、決勝トーナメントは各自2射計10射の的中数により勝敗を決定する方式で実施されました。

奈良県チームは、予選1回戦2回戦ともに11中計22中で、70チーム中同中第7位の成績で念願の予選通過を果たすことができました。これも県代表に決定以降全員で日々練習を重ねることによりチームワークを高め、お互い補い合ってそれぞれの力を発揮できたことが要因と思っています。続く決勝トーナメントでは優勝チームの埼玉県と対戦し、善戦したものの5中対6中であと一歩及ばず残念ながら初戦敗退となりました。

特に決勝トーナメントはいずれも迫力十分で見ごたえのある試合が続きました。個人的にもこのような緊張感の高まる場でこれまでは自分の射に関して不安ばかりが先行していましたが、この大会を通じ良い意味での開き直りも必要だと思いました。決勝トーナメント初戦で惜敗しましたが、壮行会で決勝トーナメント進出が目標と決意表明したことが皆様の熱い激励のお陰で実現できました。皆様の応援に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



ねりんピック富山に参加した県代表チームの選手たち  
(郡山支部 宮脇紀行)

## 奈良県弓道近的選手権大会

### 男子 山口亮二選手、女子 林秀子選手が優勝

第 21 回奈良県弓道近的選手権大会が 11 月 3 日に橿原公苑弓道場にて開催されました。穏やかな秋晴れの一日、男子 53 名、女子 45 名合計 98 名と多数参加があり 20 射の競技予定を 16 射に変更しての実施となりました。結果は次の通りです。

**男子** 優勝 山口 亮二 (生駒) 15 中  
2 位 今西 達也 (五條) 14 中 遠近法に  
3 位 新子 修平 (五條) 14 中 より決定

**女子** 優勝 林 秀子 (橿原) 12 中  
2 位 西田 ゆり (奈良) 11 中  
3 位 揚田よう子 (奈良) 10 中  
(競技部 西田ゆり)

### 中央審査受審希望者対象に審査講習会 普段から基本の動作を丁寧に行う心構えが大切

10 月 28 日橿原公苑弓道場において、主任講師に新司正人先生、講師に西中正会長、竹村邦夫先生をお迎えして、標記の講習会が行われました。受講生は 34 名。

閉会式では新司主任講師から、基本の動作はこのような講習会や、審査の前にだけ練習する事ではない、普段の稽古から基本の動作を丁寧に行って欲しい。又、メンタル面も鍛え、楽な気持ちで受審出来るよう努めて下さいとご挨拶がありました。

今回の講習会では、初めに全員が弓矢を持ち道場内に集合し、5 人の列を作り、入場の動作 (執弓の姿勢、末弭が体の正面、矢の向き、礼・揖の際の矢の角度等)、本座の動作 (揖の際の矢の角度等)、射位での動作 (開き足、末弭が体の正面、弦を返す手の高さ、矢番え等) を交互に見合い確認し合いました。次に一次審査の要領で一手行射の後、射技研修を行いました。

午前の講習会最終に、西中会長より、二次試験及び面接試験の心得について、位取りでは時間をかけず、定の座への道のり・間隔、本座への道のり、的正面へ向かう歩数、戻りの歩数、持的の際は間合いを確認する。面接では椅子の下手に立ち、受審番号・都道府県名・名前を告げて、どうぞと言われてから椅子に手を添えて、下手から坐る。動作を間違え動揺すると、質問に対する答えも焦ってしまうと、お話がありました。

午後からは錬士受審者の持的射礼、六段受審者の一次審査の要領での一手行射、教士・七段受審者の一つの射礼が行われました。



持的射礼中の受講者達

閉会式では新司主任講師より、午前中の基本動作の練習で学んだことを忘れてしまい、中りに走った人もいた。一人稽古はいけない。三人の仲間を作り、お互いに高め合う稽古をするように。普段から呼吸を意識し、短い動作ほど呼吸に注意するようにと講評があった。西中会長は的に捉われ基本を忘れている。もっと丁寧に引くように。目の前の審査でなく、長い目でみて稽古するようにと、閉会の言葉を結ばれました。

(指導部 松村由喜子)

## 郡山弓道大会

### 落ち着いた雰囲気の中で気負うことなく射に集中

秋晴れの気持ち良い天候に恵まれた 10 月 14 日 郡山弓道大会が開催され、30 名が参加しました。競技開始に先立ち、間近に迫るねんりんピックに出場されるメンバーの活躍を期待して全員でエールを送りました。その後、射手：釜谷さん、第一介添え：奥戸さん、第二介添え：下川による矢渡が行われました。競技は、団体 5 人立ち 6 チームで生まれ、霞的 8 射、色的 8 射 (各 4 矢 2 回) 計 16 射の得点数で団体戦と個人戦を競い合いました。

普段の競技練習会で気を付けることとして、チームとしてのつながりを意識することや、的にとらわれ過ぎて射が雑にならないことなどが指摘されていまして、この日は皆落ち着いた雰囲気の中で気負うことなく射に集中していたように思います。

昼食後は一息ついて気が緩む時、会を保つようにと気合いを入れ直し、いつもの稽古のような力を発揮できなかった人達も午後からは調子をあげてこられ、記録板を彩りました。ねんりんピックチームは 1 回ごとに得点があがり、3 回目が終わった時点ではそれまで首位だったチームに追いつき同点とし、最後の回で 19 点差で 1 位となりました。結果は次の通りです。

**団体戦** 1 位 宮脇、斎藤、清水、佐藤昭、赤松  
2 位 石田、久下、木下ま、吉川、佐藤峻  
3 位 森川、近岡、山野、岩倉、宮堂

### 個人戦

**式段以下の部** 1 位 近岡、 2 位 久下、3 位 吉川  
**参段以上の部** 1 位 佐藤峻、2 位 赤松、3 位 小林

大会後の講評で、心的、澄し、弦音が出る射、弓の手入れの大切さについて須田先生のお話があり、閉会となりました。

(郡山支部 下川治子)

## 全国高等学校弓道選抜大会兼近畿高等学校弓道選抜大会県予選

### 団体は男子 橿原高校、女子 平城高校が 1 位

10 月 27 日・11 月 4 日に橿原公苑弓道場で第 37 回全国高等学校弓道選抜大会兼第 26 回近畿高等学校弓道選抜大会が開催されました。結果は次頁の通りです。

## 個人戦男子

予選(27日) 8射5中以上通過 通過者27名

準決勝(4日) 4射3中以上通過 通過者7名

決勝(4日) 7名で射詰め競射

- 1位 梶本 俊輔(奈良) 2位 坂上 宗平(五條)  
3位 鈴木 孝太郎(郡山) 4位 新山 章太郎(奈良北)  
5位 森 健人(桜井) 6位 松岡 賢(橿原)



左側より、個人戦で入賞した6位～1位の選手たち

## 個人戦女子

予選(27日) 8射4中以上通過 通過者29名

準決勝(4日) 4射3中以上通過 通過者4名

決勝(4日) 1位～4位 4名で射詰め競射

5位・6位 2中12名で射詰め競射

- 1位 長山 萌々花(奈良北) 2位 石田 玲奈(登美ヶ丘)  
3位 隅 桐花(磯城野) 4位 竹谷 璃恋(西の京)  
5位 原 綾花(西の京) 6位 大枝 里奈(畝傍)



左側より、個人戦で入賞した6位～1位の選手たち

## 技能優秀賞

女子 藤井 美月(平城)、男子 尾井 響涼(橿原)



## 団体戦

予選 1チーム3名、1名8射、上位8チームが通過

2次予選リーグ

予選通過8チームを2つのリーグに分け総当たりで対戦。上位2チームが決勝リーグ進出

## 男子団体戦

2次予選リーグ

Aリーグ

- 1位 奈良高専 3勝0敗 2位 橿原高校 2勝1敗  
3位 畝傍高校 1勝2敗 4位 西の京高校 0勝3敗

Bリーグ

- 1位 平城高校 3勝0敗 2位 奈良高校 2勝1敗  
3位 磯城野高校 1勝2敗 4位 五條高校 0勝3敗

決勝リーグ

- 1位 橿原高校 3勝0敗 22中  
2位 奈良高校 2勝1敗 18中  
3位 平城高校 1勝2敗 17中  
4位 奈良高専 0勝3敗 14中

## 男子団体戦入賞校

- 1位 橿原高校 (尾井、松岡、辻井、平田)  
2位 奈良高校 (梶本、松山、吉村、宗本)  
3位 平城高校 (久保田、檜井、大鎌、梶野)



前列 1位 橿原高校、後列左側 3位 平城高校、右側 2位 奈良高校 の選手たち

## 女子団体戦

2次予選リーグ

Cリーグ

- 1位 平城高校 2勝1敗 2位 五條高校 2勝1敗  
3位 郡山高校 1勝2敗 4位 橿原高校 1勝2敗

Dリーグ

- 1位 西の京高校 3勝0敗 2位 奈良北高校 2勝1敗  
3位 奈良高校 1勝2敗 4位 高田商業 0勝3敗

決勝リーグ

- 1位 平城高校 3勝0敗 28中  
2位 奈良北高校 2勝1敗 22中  
3位 西の京高校 1勝2敗 20中  
4位 五條高校 0勝3敗 12中

## 女子団体戦入賞校

- 1位 平城高校 (吉田、三橋、藤井、浦崎)  
2位 奈良北高校 (長山、有田、鶴野、高草)  
3位 西の京高校 (水野、岡田、竹谷、原)



前列1位 平城高校、後列左側 3位 西の京高校、  
右側 2位 奈良北高校 の選手たち

(高体連 藤村佳照)

## 奈良県中学校弓道新人大会

### 団体は男子 橿原中B、女子 香芝中Aが優勝

第44回奈良県中学校弓道新人大会が11月18(日)に橿原公苑弓道場で開催されました。新チームになって、初めての県大会です。天気も良く弓道の大会には絶好の日和でした。競技は各人近的8射・遠的8射合計16射(1年生個人の部は近的8射)で競われました。参加人数は女子79名、男子48名でした。結果は次の通りです。

## 個人戦

### 男子

- 優勝 西尾 憲太(橿原中)  
2位 井上 幸大(橿原中)  
3位 麦林 和樹(香芝中)

### 女子

- 赤田 陽香(天理南中)  
中村 瑛希(香芝中)  
浅田 瑠菜(橿原中)



個人戦の入賞者 前列左から女子1位～3位、  
男子1位～3位、後列1年生個人の部入賞者 左から  
女子1位～3位、男子1位～3位

## 男子団体戦

- 優勝 橿原中B (山本、多田、井上)  
2位 橿原中A (西尾、鍵、田中)  
3位 香芝中A (奥田、山口、樋口)



男子団体の入賞者 前列1位、後列左2位、右3位

## 女子団体戦

- 優勝 香芝中A (西川、中村、長谷川)  
2位 橿原中B (武村、浅田、宮本)  
3位 天南中A (今中、多田、赤田)



女子団体の入賞者 前列1位、後列左2位 右3位

## 1年生個人の部

### 男子

- 優勝 柳原 弘都(橿原中)  
2位 森永 士温(天理南中)  
3位 早川 達也(天理南中)

### 女子

- 大塚 詩音(香芝中)  
今西 美紀(天理南中)  
肌勢 志穂(白橿中)  
(中体連 中前芳一)

## 編 | 集 | 後 | 記

ねんりんピックで県代表が念願の決勝進出。決勝トーナメントでは初戦敗退とはいえ、優勝チームの埼玉県を相手に5中対6中という善戦。大きな拍手を送らせていただきます。全国遠的選手権大会でも山口選手が昨年に続き、決勝進出を果たされました。選手の皆さま、お疲れ様でした。

今月も中学生、高校生の大会報告が入賞者の笑み満面の写真とともに届きました。編集担当 野尻賢司

